

令和元年度

# 事業報告及び決算報告

自 平成 31 年 4 月 1 日

至 令和 2 年 3 月 31 日

公益財団法人 愛知県国際交流協会

# 目 次

事業報告 .....	1
決算報告 .....	1 4

# 事業報告

(公財)愛知県国際交流協会は、国際交流を通じて県民の国際的視野を広め、本県の国際的地位の向上に供するため、県、市町村、市町国際交流協会、民間国際交流団体及び関係機関と一体となって国際交流の進展に努めた。

事業の実施にあたっては、国際交流団体交流室、研修室、日本語教育リソースルーム、あいち多文化共生センター、アイリスルーム、図書コーナー、新聞・雑誌コーナーなどの施設を有する「あいち国際プラザ」を有効に活用し、県民参加型の国際交流の推進を図った。

## 1 国際交流・国際協力活動の推進

### (1) 国際交流イベントの開催

国際交流・国際協力に関する県民意識の高揚を図るため、(独)国際協力機構中部国際センター及びなごや国際交流団体協議会と協働して、国際交流イベント「ワールド・コラボ・フェスタ2019」を10月12日、13日に開催する予定であったが、台風の影響で両日とも中止した。

開催予定日・会場	内 容	出展・出演団体	来場者数
令和元年 10月12日・13日 オアシス21	・ワールドステージ 世界の文化や地球の現状を紹介 ・コラボ広場 国際交流・協力団体の活動展示 ・NGOブース NGOの活動紹介	69団体	—

※出展・出演団体にはワールド・コラボ・フェスタ実行委員会を含まない。

### (2) 市町国際交流協会、民間国際交流団体及び外国公館等との共催事業の実施

県内における幅広い国際交流の推進を図るため、国際交流団体等の行う国際交流に関する行・催事に対し、共催、後援、補助金の交付など、積極的な支援を行うとともに、民間国際交流団体を支援するため、団体の行う各種行事の打合わせ、準備作業及び団体間の情報交換等の場として国際交流団体交流室を提供した。

さらに、民間国際交流団体等との共催で講座やワークショップ、パネル展等を開催し、外国文化や時事問題について理解を深めるための事業を実施したほか、外国公館等との共催で移動領事館を開催した。

【後援事業及び補助事業】

区分	内 容	
後援事業	世界フェアトレード・デー・なごや2019	始め21件
補助事業	国際協力月間事業	始め13件

【民間国際交流団体との共催】

共催団体	内 容	
(特活) 愛・知・みらいフォーラム 始め6団体	2019年度高校生夏休み国際理解教育特別講座 始め8事業（講座及び写真展等）	

【外国公館等との共催】

共催団体	開催日	内 容
在大阪フィリピン 共和国総領事館	令和元年7月20日 9月19日 12月14日	フィリピン移動領事館

(3) 国際交流推進功労者の表彰

国際交流や多文化共生の地域づくりの推進に顕著な功績のある団体を表彰した。

開催日	表彰の種類	被表彰者数
令和元年11月15日	会長表彰	4名 4団体

(4) ボランティア登録制度の運営

地域の国際交流の担い手としてのボランティアを育成するため、その積極的活用を図るとともに、ボランティア同士の連携を深めるための交流会を開催した。

【ボランティア登録者数】

(令和2年3月31日現在)

ボランティアの区分	登録者数(延べ)
語学ボランティア (20言語)	370名
ホームステイ・ホームビジットボランティア	87名
サポートボランティア	172名
合計	629名

【ボランティアの活動】

区 分	内 容	参加者数(延べ)
語学(通訳)	多文化共生サポート事業 (通訳依頼) 1件	1名
語学(翻訳)	自殺予防啓発事業 始め30件	30名
サポ ー ト	あいち国際プラザ日本語教室 始め3件	1,815名

(5) ブラジル・アルゼンチン愛知県人会との連携・支援

海外移住先国のブラジル・アルゼンチン愛知県人会を通じて、移住者の自立支援のための相談等を行うとともに、日本にいる移住者の家族に対して情報提供を行った。

(6) フェアトレードの普及啓発

世界フェアトレード月間である5月に、国際協力活動の一つとしてフェアトレードを紹介し、県民が途上国の貧困や人権・環境問題など地球の課題や解決方法を知り、考え、国際協力活動へのきっかけづくりとなる場を提供した。

開催日	内 容	参加者数
令和元年5月25日	フェアトレード講座 「AFRIKA ROSE すべての人が幸せになる フェアトレード講座 薔薇を通して想いを伝えよう!自分で作る1輪のギフト」	20名

(7) 国際貢献支援事業の実施

県内における国際協力を推進するため、国際的に緊急かつ深刻な貧困、災害等の諸問題を抱えた地域を対象に、必要に応じて義援金、緊急物資などを供与する事業であるが、令和元年度は対象となる事業がなかったため、活動実績がなかった。

## 2 多文化共生の地域づくりの推進

### (1) あいち多文化共生センターの運営

多文化ソーシャルワーカーが、ポルトガル語、スペイン語、英語、中国語、フィリピン語／タガログ語、ベトナム語、ネパール語、インドネシア語、タイ語、韓国語、ミャンマー語及び日本語の計12言語により生活相談を始めとした各種の外国人相談に応じるとともに、複雑な相談内容によっては継続的支援を行った。

また、高度な法律知識を要する相談内容に対応するため、外国人のための無料弁護士相談を行った他、在留関係、労働関係、消費生活関係に問題を抱える外国人に対しては専門機関等と連携し、各専門員による専門相談を行った。

#### 【相談・情報提供等】

(単位：件)

相談言語	多文化ソーシャルワーカーによる 相談・情報提供及び支援					在留 相談	労働 相談	消費 生活 相談	弁護 士相 談	合計
	情報 提供	継続 支援	傾聴	翻訳・ 通訳	小計					
日本語	950	0	14	0	964	3	0	1	5	973
ポルトガル語	328	9	17	161	515	0	1	0	24	540
スペイン語	74	0	1	18	93	0	1	0	8	102
英語	88	1	0	53	142	1	0	0	3	146
中国語	22	1	0	18	41	0	0	0	5	46
フィリピン語 /タガログ語	18	3	0	16	37	0	0	0	8	45
ベトナム語	6	0	0	21	27	0	0	0		27
ネパール語	2	0	0	7	9	0	0	0		9
インドネシア語	3	0	0	14	17	0	0	0		17
タイ語	0	0	0	7	7	0	0	0		7
韓国語	0	0	0	0	0	0	0	0		0
ミャンマー語	0	0	0	0	0	0	0	0		0
合計	1,491	14	32	315	1,852	4	2	1	53	1,912

※平成31年4月よりベトナム語、ネパール語、インドネシア語、タイ語に対応。令和元年10月より韓国語、ミャンマー語に対応。

※在留相談及び労働相談は令和元年11月から、消費生活相談は令和2年1月から実施。

### (2) 外国人相談担当者向け対応ハンドブックの作成

外国人住民がより充実した行政サービスを受けることができるようにするため、当協会に寄せられた相談事例等をもとに、外国人特有の問題やその背景となる各国事情、相談対応のポイント等を含めた相談対応冊子「相談員のための多文化ハンドブック＝結婚・離婚編＝」を1,500部作成し、市町村・市町国際交流協会、社会福祉関係機関等の相談窓口へ配布した。

### (3) 多文化共生理解講座の開催

外国人と触れ合う機会の少ない日本人が楽しく異文化を知ることにより、地域に住む外国人住民に親近感を持ち、理解を広げることにより多文化共生の地域づくりの推進を図る講座を開催した。

名称	開催日・会場	テーマ	参加者数
ドキドキ♥わくわくあつという間に世界一周??	令和元年8月3日 あいち国際プラザ アイリスルーム	様々な国の文化や言葉に触れながら、多文化共生の意義についての理解を深める機会を提供する。	33名

### (4) 災害時のための体制づくり事業の実施

災害時に、外国人被災者を直接支援する県内市町村に対し、情報提供や通訳・翻訳などの言語面での支援をするために愛知県が設置し、県と協会が共同で運営する「愛知県災害多言語支援センター」について、県、市町村との共同で訓練や研修を実施した。

また、災害発生時には、当協会のあいち多文化共生センターに対する相談も集中することが予想されることから、相談対応や災害時のセンター運営等に向けたボランティアのための研修を開催した。

なお、実際に起こりうる相談・情報提供、翻訳などの活動を想定した実践的な訓練を行う予定だったが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止した。

開催日	内 容	参加者数
令和2年2月12日	災害ボランティア研修会 講師：菊池 哲佳氏 仙台多文化共生センター ((公財) 仙台観光国際協会所属) 多文化社会コーディネーター (多文化社会専門職機構認定)	19名

### (5) 外国人児童生徒向け日本語教室への支援

外国人児童生徒の日本語学習環境の充実を図るため、地域のNPOなどが実施する外国人児童生徒のための日本語教室に対し、教室運営に必要な経費の一部を助成した。

事業名	実 績
日本語教室学習支援事業	認定：(公財)名古屋YWCA 名古屋YWCA グローバルスクール 始め55団体96教室 延べ学習者数：10,123人

(6) 外国人学校での日本語指導への支援

外国人学校の外国人児童生徒に質の高い日本語学習環境を提供するため、外国人児童生徒の日本語学習に必要な日本語学習教材を整備するための費用の一部及び日本語指導者の雇用に必要な経費の一部を助成した。

事業名	実績
日本語指導者雇用助成事業	日本語指導者雇用に係る助成： エスコーラ パウロ フレイレ瀬戸始め 4校
日本語学習教材給付事業	対象：3校 給付教材数：107冊

(7) 外国人児童生徒の日本語能力試験受験への助成

日本語学習支援基金の助成対象日本語教室及び助成対象校で学ぶ外国人児童生徒が意欲を持って日本語学習に取り組めるようにするため、(公財)日本国際教育支援協会等が実施する日本語能力試験を受験し合格した場合、当該受験料相当額を助成した。

助成先	実績
日本語教室 10団体	助成対象者：43名
外国人学校 2校	助成対象者：2名

(8) 外国人児童生徒指導関係者共同研修の実施

外国人児童生徒への効果的な指導を行うため、学校とNPOの外国人児童生徒指導関係者を対象に、地域の外国人児童生徒の教育に関する課題の共有や情報交換等を行う共同研修を実施し、外国人児童生徒指導関係者間のネットワークづくり及び連携強化を図った。

開催地	開催日	内容		参加者数
知多市	令和元年 8月1日 8月27日	1日目	講義①「外国人児童生徒の現状と課題」 講義②「外国につながる子どもの発達障害の捉え方」	50名
		2日目	講義「外国人児童生徒の現状と課題について」 活動報告「それぞれの取り組みについて」 ワークショップ 「指導カリキュラムをつくってみよう」	



(9) 外国人児童生徒及び保護者のための教育相談会の開催

外国につながりを持つ子どもとその保護者を対象に、日本で進学・就職する上で必要な教育制度等について情報を提供するとともに、日ごろの教科学習や日本語学習などに関して相談できる機会を提供した。

開催地	開催日	内 容	参加者数
みよし市	令和元年 8月31日	講義「日本の教育・進路について」 体験談発表 ワークショップ 「悩んでいることについて相談しよう」	34人
岡崎市	令和元年 10月27日	講義「日本の教育・進路について」 高校の紹介 体験談発表 ワークショップ 「悩んでいることについて相談しよう」	56人

(10) プラザ日本語教室の開催

日本語ボランティア入門講座及び日本語ボランティアゼミナール修了生の実地研修の場として、日本語教室を開催し、外国人の日本語学習支援を行った。

なお、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、第3期の3回分を中止した。

開催(予定)期間	曜日及び時間	ボランティア数	学習者数
第1期 4～7月	火曜日13:30～15:00	53名	150名
第2期 9～12月	金曜日13:30～15:00 19:00～20:30		167名
第3期 1～3月	土曜日10:30～12:00 14:00～15:30		110名

(11) 日本語教育リソースルームの運営

日本語教育に関わっているボランティアや教員等の活動拠点として、日本語教育に関するモデル的取組を実施するとともに、ノウハウや成果を発信した。

なお、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、2月26日、3月4日、3月11日の3回分を中止した。

事業名	開催(予定)日	テーマ等	参加者数
はじめての日本語 ～きいてみよう！はな してみよう！～	令和元年7月13日、 7月20日、7月27日、 8月3日(全4回)	「自己紹介・出身地」等	延べ 55名
「初めて習う日本語」 の教え方	令和2年2月19日、 2月26日、3月4日、3月11日 は、(後半3回は中止)	「Can-do statements を 使った教室活動」等	延べ 38名

### 3 国際化の推進役となる人材の育成

#### (1) 「2019スーパーグローバルユース会議」の開催

ユース（若者）が地域の国際理解教育の担い手として活動を展開できるよう、「グローバル人材」をテーマに掲げ、地域や地球の課題について参加型で学ぶユース会議を開催した。

回数	開催日	テーマ	参加者数
第1回	令和元年11月16日	世界を目指して自分づくりに挑戦 (1日目：外務省研修所長 片山和之氏講義) (2日目：トヨタ自動車株式会社総務部 佐藤俊之氏講義)	延べ37名
第2回	令和元年12月7日		

#### (2) 国際交流・多文化共生コーディネーター講座の開催

市町村・市町国際交流協会等の職員を対象に、日常業務のスキルアップを図るための講座を開催した。

開催日	内 容	参加者数
令和元年12月3日	講演：「日系ブラジル人として日本初の日系ブラジル人弁護士になるまで そしてこれからの話」 講師：弁護士 照屋エイジ氏 (日系ブラジル人初の弁護士)	62名

#### (3) ボランティア研修の実施

当協会及び市町村・市町国際交流協会のボランティアに対して、ボランティア活動を行うにあたっての語学勉強会や国際理解を深めるための講座を開催する予定であったが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止した。

開催予定日	内 容	参加者数
令和2年3月9日	フランス語講座 「フランス文化とはじめてのフランス語」 「フランス語スキルアップ講座」 講師：西野オーレリー (南山大学等講師)	—

#### (4) 英語勉強会の開催

当協会の登録ボランティアを対象に、英語力研鑽のための勉強会を開催した。  
なお、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、3月7日に開催予定であった英語勉強会は中止した。

開催(予定)日	内 容	参加者数
平成31年4月～令和2年3月（第1土曜日）	英語勉強会（ボランティア通訳）	延べ67名

(5) 通訳翻訳講座の開催

語学ボランティア活動や小中学校において必要なフィリピン語についての講座を開催した。

開催日	内 容	参加者数
令和元年8月8日	フィリピン入門講座（教育） 講師：伊藤 クリスティーナ氏 （通訳・翻訳人）	46名

(6) やさしい日本語講座の開催

災害時に、外国人に必要な情報をやさしい日本語でわかりやすく伝えるスキルを学ぶ講座を開催した。

回数	開催日	内 容	講師	参加者数
第1回	令和2年1月23日	やさしい日本語とは	一橋大学 国際教育交流センター 教授 庵 功雄氏	延べ 104名
第2回	令和2年1月30日	バイパスとしての やさしい日本語		
第3回	令和2年2月13日	マジョリティにとっての 「やさしい日本語」		

(7) 外国人相談窓口及び各種専門機関等の相談員向け研修会の開催

日頃から外国人住民に対する相談・情報提供及び支援活動に関わる相談担当者の資質向上を図るとともに、情報交換とネットワーク作りの場を提供し、県内各地域において有益な外国人向け相談業務が行われるようにするため。「外国人相談担当者研修会」を実施した。

なお、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、第2回は中止した。

回数	開催(予定)日	テーマ	参加者数
第1回	令和元年10月29日	講演「外国人相談のための『改正入管法』の基礎知識」 講師：松平勉氏（名古屋出入国在留管理局 総務課長補佐） 講演「在留資格別相談ポイントと注意点」 講師：田澤満氏（愛知県行政書士会常務理事 国際部長）	76名

回数	開催(予定)日	テーマ	参加者数
第2回	令和2年2月27日	講演「外国人相談のための『改正入管法』の基礎知識」 講師：川上弘晃氏（名古屋出入国在留管理局審査管理部門 受入環境調整担当統括審査） 講演「『身分に基づく在留資格』についての相談ポイントと注意点」 講師：金恩瑩氏（Office KIM 金行政書士事務所 代表）	(応募者 73名)

(8) 地域において外国人児童生徒の学習支援を推進するコーディネーターの育成  
 市町村や市町国際交流協会の多文化共生事業担当職員、教育委員会職員及び教員等を対象に、外国人児童生徒の学習支援活動の充実に向け、地域において外国人児童生徒の学習支援活動を推進するコーディネーターを養成する講座を開催した。

なお、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、3日目は中止した。

開催(予定)日	内 容		参加者数
令和2年 2月14日 2月21日 2月28日	1日目	講義「外国人児童生徒の現状と課題」 事例紹介「愛知県の先進的な取り組みについて」 （学校・NPO・自治体それぞれの立場から）	45名
	2日目	事例紹介「他自治体の先進的な取り組みについて」 （浜松国際交流協会事例） 講義「事業の企画・立案・実施のために必要なこと」 ワークショップ「コーディネーターに求められる資質を考える」	
	3日目	ワークショップ 「地域のニーズに合った事業を企画してみよう」・ 「私の地域での2か年計画の策定」	

(9) 子ども向け日本語教室で活動するボランティアの養成

日本語ボランティア未経験者及び初心者向けに、外国人住民や外国人児童生徒の現状や課題、日本語ボランティアとはどのような活動なのか、またその支援内容や教え方などを学ぶ講座を開催した。

開催地	開催日	内容		参加者数
新城市※	令和元年 9月2日 9月9日 9月16日	1日目 (大人 向け)	講義①「地域の外国人の現状」 講義②「地域の日本語教室とは」 活動報告「地域の日本語教室のことを知ろう」	22名
		2日目 (子ども 向け)	講義①「外国につながりを持つ子どもたち」 講義②「子ども向け日本語教室とは」 活動報告「地域の日本語教室のことを知ろう」	
		3日目 (混合)	ワークショップ 「大人向けの教え方」・「子ども向けの教え方」 「今後の活動に向けて」	
あま市※	令和元年 11月30日 12月7日 12月14日	上記新城市と同プログラム		27名

※3(11)の大人向け日本語教室で活動するボランティアの養成と同時開催

(10) 子ども向け日本語教室で活動するボランティアのスキルアップ講座の開催

過去行ってきたボランティア養成講座の参加者や、現在日本語ボランティアとして活動しているボランティアを対象として、外国人児童生徒への指導にあたり、悩んでいることを解消し、さらなるスキルアップが可能となるような講座を開催した。

開催日	内容		参加者数
令和2年 2月6日 2月20日	1日目	講義「外国人につながりのある中学生・高校生への日本語支援について」	45名
	2日目	講義「外国につながりを持つ子どもの発達障害の捉え方」	

(11) 大人向け日本語教室で活動するボランティアの養成

多文化共生社会の実現に向けた日本語教室のあり方を、ボランティア等に理解してもらい、より意義のある活動につながるよう各種講座を実施した。

開催地	事業名	開催日	テーマ等	参加者数
名古屋市	日本語ボランティア入門講座	令和元年10月9日、 ～11月27日 (全8回)	「日本語ボランティアの役割」等	延べ 236名
常滑市	日本語ボランティア入門講座in常滑	令和元年12月4日、 12月11日、1月8日	「日本語ボランティアの役割」等	延べ 85名
新城市※	日本語ボランティア入門講座in新城市※	令和元年9月2日、 9月9日、9月16日	「地域の外国人の現状」等 (1日目:大人向け、2日目: 子ども向け、3日目:混合)	22名

開催地	事業名	開催日	テーマ等	参加者数
あま市※	日本語ボランティア入門講座inあま市※	令和元年11月30日、 12月7日、12月14日	上記新城市と同プログラム	27名

※3(9)の子ども向け日本語教室で活動するボランティアの養成と同時開催

#### (12) 大人向け日本語教室で活動するボランティアのスキルアップ講座の開催

地域の大人向け日本語教室で活動するボランティアを対象に、日本語教授法の更なる技術向上を目的とした講座を開催した。

事業名	開催日	テーマ等	参加者数
日本語ボランティアスキルアップ講座	令和元年7月29日、 8月5日（全2回）	「プロに学ぶ！どう教える！？ ～『てにをは』と「とばたらなら」～」	延べ 70名

## 4 国際化に関する調査研究・情報提供

### (1) 調査研究等の実施

県内の民間国際交流団体の活動状況や、国際交流に関する基礎的情報を盛り込んだ「国際交流ハンドブック」を1,200部作成し、配布した。

### (2) 図書コーナーでの情報・資料の提供

国際交流に関する様々な図書・資料を収集し、図書コーナー、新聞・雑誌コーナー及びビデオコーナーにおいて貸出または閲覧に供した。

また、近年アジア系の外国人住民が増加していることからアジア系の図書を充実させた。

なお、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、3月2日から利用を休止した。

区分	図書コーナー	新聞・雑誌、 ビデオコーナー	貸出冊数
利用者数等	7,041名	2,434名	1,382冊

(3) インターネット等を活用した情報の提供

国際交流に関する各種情報を日本語、英語、中国語、ポルトガル語、スペイン語、韓国・朝鮮語の6言語でホームページ（通称i-net）を作成し、インターネットにより提供した。

また、機関誌を作成し、協会の活動内容や国際交流関係情報等の広報を行った。

機関誌名	発行回数	発行時期	部数	配布先
あいち国際プラザ	6回	奇数月	各10,000部	協会賛助会員、民間国際交流団体、市町村・協会など

(4) 多言語による生活情報の提供

外国人県民の生活利便の向上を図るため、在留手続き、労働、医療・年金・福祉、教育、税金等、日本で生活する上で必要な情報を集めた冊子「愛知生活便利帳」（ポルトガル語・スペイン語・日本語併記）を1,470部作成し、来訪者や市町村相談窓口等の関係団体に配布した。

(5) 国際交流協会活動推進会議等の開催

国際交流の推進を図るため、県内市町国際交流協会等と連絡会議及び活動推進会議を開催し、情報交換等を行った。

開催日	会議等名称	内容	出席者
平成31年4月24日	市町村・市町国際交流協会連絡会議	「今年度の主要事業等について」等	県内各市町村・市町国際交流協会職員
平成31年4月24日	第1回国際交流協会活動推進会議	「各協会の今年度の主な取り組み紹介」等	県内各市町国際交流協会職員
令和元年12月3日	第2回国際交流協会活動推進会議	「令和元年度の各ブロック会議の報告」等	県内各市町国際交流協会職員

# 決算報告

## 貸借対照表

令和2年3月31日現在

公益財団法人 愛知県国際交流協会

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増減
<b>I 資産の部</b>			
<b>1 流動資産</b>			
現金預金	26,672,164	24,995,883	1,676,281
未収金	98,900	151,064	△52,164
前払金	69,450	24,500	44,950
流動資産合計	26,840,514	25,171,447	1,669,067
<b>2 固定資産</b>			
(1) 基本財産			
投資有価証券等	314,595,000	314,595,000	0
基本財産合計	314,595,000	314,595,000	0
(2) 特定資産			
退職給付引当資産	22,709,689	20,413,103	2,296,586
国際貢献支援事業特定資産	1,835,382	1,835,580	△198
日本語学習支援基金事業特定資産	53,153,564	80,449,360	△27,295,796
特定資産合計	77,698,635	102,698,043	△24,999,408
(3) その他の固定資産			
什器備品	2,693,772	306,083	2,387,689
電話加入権	1,148,040	1,148,040	0
その他の固定資産合計	3,841,812	1,454,123	2,387,689
固定資産合計	396,135,447	418,747,166	△22,611,719
資 産 合 計	422,975,961	443,918,613	△20,942,652
<b>II 負債の部</b>			
<b>1 流動負債</b>			
未払金	26,308,998	24,692,385	1,616,613
預り金	518,516	457,062	61,454
前受金	13,000	22,000	△9,000
流動負債合計	26,840,514	25,171,447	1,669,067
<b>2 固定負債</b>			
退職給付引当金	22,709,689	20,413,103	2,296,586
固定負債合計	22,709,689	20,413,103	2,296,586
負 債 合 計	49,550,203	45,584,550	3,965,653
<b>III 正味財産の部</b>			
<b>1 指定正味財産</b>			
寄付金	369,583,946	396,879,940	△27,295,994
指定正味財産合計	369,583,946	396,879,940	△27,295,994
(うち基本財産への充当額)	314,595,000	314,595,000	0
(うち特定資産への充当額)	54,988,946	82,284,940	△27,295,994
<b>2 一般正味財産</b>	3,841,812	1,454,123	2,387,689
(うち基本財産への充当額)	0	0	0
(うち特定資産への充当額)	0	0	0
正味財産合計	373,425,758	398,334,063	△24,908,305
負債及び正味財産合計	422,975,961	443,918,613	△20,942,652



## 貸借対照表内訳表

令和2年3月31日現在

公益財団法人 愛知県国際交流協会

(単位：円)

科 目	公益目的 事業会計	法人会計	内部取引 消去	合 計
<b>I 資産の部</b>				
<b>1 流動資産</b>				
現金預金	24,510,158	2,162,006		26,672,164
未収金	98,900	0		98,900
前払金	69,450	0		69,450
流動資産合計	24,678,508	2,162,006		26,840,514
<b>2 固定資産</b>				
(1) 基本財産				
投資有価証券等	314,595,000	0		314,595,000
基本財産合計	314,595,000	0		314,595,000
(2) 特定資産				
退職給付引当資産	0	22,709,689		22,709,689
国際貢献支援事業特定資産	1,835,382	0		1,835,382
日本語学習支援基金事業特定資産	53,153,564	0		53,153,564
特定資産合計	54,988,946	22,709,689		77,698,635
(3) その他の固定資産				
什器備品	2,693,772	0		2,693,772
電話加入権	1,148,040	0		1,148,040
その他の固定資産合計	3,841,812	0		3,841,812
固定資産合計	373,425,758	22,709,689		396,135,447
資 産 合 計	398,104,266	24,871,695		422,975,961
<b>II 負債の部</b>				
<b>1 流動負債</b>				
未払金	24,635,888	1,673,110		26,308,998
預り金	42,620	475,896		518,516
前受金	0	13,000		13,000
流動負債合計	24,678,508	2,162,006		26,840,514
<b>2 固定負債</b>				
退職給付引当金	0	22,709,689		22,709,689
固定負債合計	0	22,709,689		22,709,689
負 債 合 計	24,678,508	24,871,695		49,550,203
<b>III 正味財産の部</b>				
<b>1 指定正味財産</b>				
寄付金	369,583,946	0		369,583,946
指定正味財産合計	369,583,946	0		369,583,946
(うち基本財産への充当額)	314,595,000	0		314,595,000
(うち特定資産への充当額)	54,988,946	0		54,988,946
<b>2 一般正味財産</b>	3,841,812	0		3,841,812
(うち基本財産への充当額)	0	0		0
(うち特定資産への充当額)	0	0		0
正味財産合計	373,425,758	0		373,425,758
負債及び正味財産合計	398,104,266	24,871,695		422,975,961

正味財産増減計算書

平成31年4月1日から令和2年3月31日まで

公益財団法人 愛知県国際交流協会

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増減
<b>I 一般正味財産増減の部</b>			
<b>1. 経常増減の部</b>			
(1) 経常収益			
基本財産運用益	2,810,164	3,415,170	△ 605,006
基本財産受取利息	2,810,164	3,415,170	△ 605,006
特定資産運用益	18	18	0
特定資産受取利息	18	18	0
受取会費	2,997,000	3,000,000	△ 3,000
受取会費	2,997,000	3,000,000	△ 3,000
事業収益	30,000	30,000	0
広告料収入	30,000	30,000	0
受取補助金等	145,111,631	124,569,292	20,542,339
県補助金	145,111,631	124,569,292	20,542,339
その他補助金	0	0	0
受取寄付金	28,111,994	27,373,113	738,881
受取寄付金	0	0	0
受取寄付金等振替額	28,111,994	27,373,113	738,881
雑収益	1,295,823	1,286,676	9,147
受取利息	2,050	1,880	170
雑収益	1,293,773	1,284,796	8,977
経常収益計	180,356,630	159,674,269	20,682,361
(2) 経常費用			
事業費	149,782,522	125,987,950	23,794,572
報酬	25,658,240	22,367,060	3,291,180
給料手当	43,950,133	36,255,990	7,694,143
臨時雇賃金	9,150,837	7,559,369	1,591,468
福利厚生費	12,946,471	11,718,269	1,228,202
旅費交通費	2,351,894	2,190,264	161,630
役務費	9,401,152	4,522,719	4,878,433
減価償却費	414,889	66,413	348,476
消耗什器備品費	1,918,943	386,027	1,532,916
需用費	8,097,114	5,255,537	2,841,577
使用料及び賃借料	3,080,779	3,068,076	12,703
諸謝金	2,762,140	2,921,616	△ 159,476
租税公課	17,200	3,600	13,600
支払負担金	2,071,450	1,803,720	267,730
支払助成金	24,907,560	24,655,820	251,740
委託費	3,053,720	3,213,470	△ 159,750

科 目	当年度	前年度	増減
管理費	28,177,917	33,524,253	△ 5,346,336
役員報酬	495,000	465,000	30,000
給料手当	16,023,428	19,079,059	△ 3,055,631
退職給付費用	2,296,586	1,849,927	446,659
福利厚生費	3,144,796	4,034,160	△ 889,364
旅費交通費	12,060	12,100	△ 40
役務費	83,625	130,377	△ 46,752
需用費	96,730	86,350	10,380
修繕費	0	802,327	△ 802,327
光熱水料費	5,919,530	6,958,791	△ 1,039,261
保険料	60,910	60,910	0
雑費	45,252	45,252	0
經常費用計	177,960,439	159,512,203	18,448,236
評価損益等調整前当期經常増減額	2,396,191	162,066	2,234,125
基本財産評価損益等	0	0	0
特定資産評価損益等	0	0	0
投資有価証券評価損益等	0	0	0
評価損益等計	0	0	0
当期經常増減額	2,396,191	162,066	2,234,125
2. 經常外増減の部			
(1) 經常外収益	0	0	0
經常外収益計	0	0	0
(2) 經常外費用			
固定資産除却損	8,502	26,463	△ 17,961
經常外費用計	8,502	26,463	△ 17,961
当期經常外増減額	△ 8,502	△ 26,463	17,961
他会計振替額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	2,387,689	135,603	2,252,086
一般正味財産期首残高	1,454,123	1,318,520	135,603
一般正味財産期末残高	3,841,812	1,454,123	2,387,689
II 指定正味財産増減の部			
受取寄付金	816,000	706,000	110,000
基本財産受取利息	2,810,164	3,415,170	△ 605,006
特定資産受取利息	18	18	0
一般正味財産への振替額	△ 30,922,176	△ 30,788,301	△ 133,875
当期指定正味財産増減額	△ 27,295,994	△ 26,667,113	△ 628,881
指定正味財産期首残高	396,879,940	423,547,053	△ 26,667,113
指定正味財産期末残高	369,583,946	396,879,940	△ 27,295,994
III 正味財産期末残高	373,425,758	398,334,063	△ 24,908,305

正味財産増減計算書内訳書

平成31年4月1日から令和2年3月31日まで

公益財団法人 愛知県国際交流協会

(単位：円)

科 目	公益目的事業会計						法人会計	内部取引消去	合計
	国際交流	多文化共生	人材育成	情報提供	共通	小計			
I 一般正味財産増減の部									
1. 経常増減の部									
(1) 経常収益									
基本財産運用益	0	0	0	0	2,810,164	2,810,164	0		2,810,164
基本財産受取利息	0	0	0	0	2,810,164	2,810,164	0		2,810,164
特定資産運用益	18	0	0	0	0	18	0		18
特定資産受取利息	18	0	0	0	0	18	0		18
受取会費	0	0	0	0	1,498,500	1,498,500	1,498,500		2,997,000
受取会費	0	0	0	0	1,498,500	1,498,500	1,498,500		2,997,000
事業収益	0	0	0	30,000	0	30,000	0		30,000
広告料収入	0	0	0	30,000	0	30,000	0		30,000
受取補助金等	12,952,669	61,980,464	15,642,829	23,794,988	4,871,344	119,242,294	25,869,337		145,111,631
県補助金	12,952,669	61,980,464	15,642,829	23,794,988	4,871,344	119,242,294	25,869,337		145,111,631
その他補助金	0	0	0	0	0	0	0		0
受取寄付金	198	28,111,796	0	0	0	28,111,994	0		28,111,994
受取寄付金	0	0	0	0	0	0	0		0
受取寄付金等振替額	198	28,111,796	0	0	0	28,111,994	0		28,111,994
雑収益	465,135	20,608	0	0	0	485,743	810,080		1,295,823
受取利息	0	0	0	0	0	0	2,050		2,050
雑収益	465,135	20,608	0	0	0	485,743	808,030		1,293,773
経常収益計	13,418,020	90,112,868	15,642,829	23,824,988	9,180,008	152,178,713	28,177,917		180,356,630
(2) 経常費用									
事業費	15,239,152	87,310,288	15,642,829	24,970,371	6,619,882	149,782,522	0		149,782,522
報酬	0	18,409,920	4,752,320	2,496,000	0	25,658,240	0		25,658,240
給料手当	8,607,285	17,033,009	8,112,111	10,197,728	0	43,950,133	0		43,950,133
臨時雇賃金	0	5,396,174	0	2,389,974	1,364,689	9,150,837	0		9,150,837
福利厚生費	1,934,695	5,600,830	2,037,803	3,373,143	0	12,946,471	0		12,946,471
旅費交通費	92,120	955,529	214,955	519,920	569,370	2,351,894	0		2,351,894
役務費	361,176	6,435,550	96,840	1,681,869	825,717	9,401,152	0		9,401,152
減価償却費	0	0	0	0	414,889	414,889	0		414,889
消耗什器備品費	0	1,643,860	0	275,083	0	1,918,943	0		1,918,943
需用費	357,436	4,510,280	158,200	1,614,031	1,457,167	8,097,114	0		8,097,114
使用料及び賃借料	200,000	61,936	0	2,422,623	396,220	3,080,779	0		3,080,779
諸謝金	181,440	2,316,100	264,600	0	0	2,762,140	0		2,762,140
租税公課	0	10,200	0	0	7,000	17,200	0		17,200
支払負担金	1,500,000	29,700	6,000	0	535,750	2,071,450	0		2,071,450
支払助成金	1,199,000	23,708,560	0	0	0	24,907,560	0		24,907,560
委託費	806,000	1,198,640	0	0	1,049,080	3,053,720	0		3,053,720

科 目	公益目的事業会計						法人会計	内部取引 消去	合計
	国際交流	多文化共生	人材育成	情報提供	共通	小計			
管理費							28,177,917		28,177,917
役員報酬							495,000		495,000
給料手当							16,023,428		16,023,428
退職給付費用							2,296,586		2,296,586
福利厚生費							3,144,796		3,144,796
旅費交通費							12,060		12,060
役務費							83,625		83,625
需用費							96,730		96,730
修繕費							0		0
光熱水料費							5,919,530		5,919,530
保険料							60,910		60,910
雑費							45,252		45,252
経常費用計	15,239,152	87,310,288	15,642,829	24,970,371	6,619,882	149,782,522	28,177,917		177,960,439
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 1,821,132	2,802,580	0	△ 1,145,383	2,560,126	2,396,191	0		2,396,191
基本財産評価損益等	0	0	0	0	0	0	0		0
特定資産評価損益等	0	0	0	0	0	0	0		0
投資有価証券評価損益等	0	0	0	0	0	0	0		0
評価損益等計	0	0	0	0	0	0	0		0
当期経常増減額	△ 1,821,132	2,802,580	0	△ 1,145,383	2,560,126	2,396,191	0		2,396,191
2. 経常外増減の部									
(1) 経常外収益	0	0	0	0	0	0	0		0
経常外収益計	0	0	0	0	0	0	0		0
(2) 経常外費用									
固定資産除却損	0	0	0	0	8,502	8,502	0		8,502
経常外費用計	0	0	0	0	8,502	8,502	0		8,502
当期経常外増減額	0	0	0	0	△ 8,502	△ 8,502	0		△ 8,502
他会計振替額	0	0	0	0	0	0	0		0
当期一般正味財産増減額	△ 1,821,132	2,802,580	0	△ 1,145,383	2,551,624	2,387,689	0		2,387,689
一般正味財産期首残高	-	-	-	-	-	1,454,123	-		1,454,123
一般正味財産期末残高	-	-	-	-	-	3,841,812	-		3,841,812
II 指定正味財産増減の部									
受取寄付金	0	816,000	0	0	0	816,000	0		816,000
基本財産受取利息	0	0	0	0	2,810,164	2,810,164	0		2,810,164
特定資産受取利息	18	0	0	0	0	18	0		18
一般正味財産への振替額	△ 216	△ 28,111,796	0	0	△ 2,810,164	△ 30,922,176	0		△ 30,922,176
当期指定正味財産増減額	△ 198	△ 27,295,796	0	0	0	△ 27,295,994	0		△ 27,295,994
指定正味財産期首残高	-	-	-	-	-	396,879,940	-		396,879,940
指定正味財産期末残高	-	-	-	-	-	369,583,946	-		369,583,946
III 正味財産期末残高	-	-	-	-	-	373,425,758	-		373,425,758

## 財務諸表に対する注記

### 1. 重要な会計方針

(1) 有価証券の評価基準及び評価方法について

満期保有目的の債券……償却原価法（定額法）によっている。

なお、取得価格と債券金額との差額について重要性が乏しい満期保有目的の債券については、適用していない。

(2) 固定資産の減価償却方法について

定額法による減価償却を実施している。

(3) 引当金の計上基準について

退職給付引当金には、期末退職給与の要支給額に相当する金額を計上している。

(4) 消費税等の会計基準について

消費税等の会計処理は、税込方式によっている。

### 2. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
投資有価証券等	314,595,000	2,810,164	2,810,164	314,595,000
小 計	314,595,000	2,810,164	2,810,164	314,595,000
特定資産				
退職給付引当資産	20,413,103	2,296,586		22,709,689
国際貢献支援事業特定資産	1,835,580	18	216	1,835,382
日本語学習支援基金事業特定資産	80,449,360	816,000	28,111,796	53,153,564
小 計	102,698,043	3,112,604	28,112,012	77,698,635
合 計	417,293,043	5,922,768	30,922,176	392,293,635

### 3. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味 財産からの充当 額)	(うち一般正 味財産からの 充当額)	(うち負債に 対応する額)
基本財産				
投資有価証券等	314,595,000	314,595,000	0	-
小 計	314,595,000	314,595,000	0	-
特定資産				
退職給付引当資産	22,709,689	-	-	22,709,689
国際貢献支援事業特定資産	1,835,382	1,835,382	0	-
日本語学習支援基金事業特定資産	53,153,564	53,153,564	0	-
小 計	77,698,635	54,988,946	0	22,709,689
合 計	392,293,635	369,583,946	0	22,709,689

4. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
什器備品	22,745,139	20,051,367	2,693,772
電話加入権	1,148,040	0	1,148,040
合 計	23,893,179	20,051,367	3,841,812

5. 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益

満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	帳簿価額	時価	評価損益
愛知県債	110,000,000	110,463,210	463,210
愛知県債	100,000,000	102,710,000	2,710,000
大阪府債	4,492,125	4,586,058	93,933
合 計	214,492,125	217,759,268	3,267,143

6. 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高

補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高は、次のとおりである。

(単位：円)

補助金等の名称	交付者	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高	貸借対照表上の記載区分
平成31年度愛知県国際交流協会運営費補助金	愛知県	0	145,111,631	145,111,631	0	-
合 計		0	145,111,631	145,111,631	0	

7. 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳

指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

内 容	金 額
経常収益への振替額	
基本財産受取利息の振替額	2,810,164
特定資産受取利息の振替額	18
国際貢献支援事業の実施による振替額	198
日本語学習支援基金事業の実施による振替額	28,111,796
合 計	30,922,176

## 附属明細書

### 1. 基本財産及び特定資産の明細

財務諸表に対する注記で記載しているため省略。

### 2. 引当金の明細

(単位：円)

科目	期首残高	当期増加額	当期減少額		期末残高
			目的使用	その他	
退職給付引当金	20,413,103	2,296,586	0	0	22,709,689



# 財 産 目 録

令和2年3月31日現在

(単位：円)

貸借対照表科目	場所・物量等	使用目的等	金額
<b>(流動資産)</b>			
現金	手元保管	運転資金	0
預金	普通預金		
	三菱UFJ銀行愛知県庁出張所	運転資金	26,672,164
未収金	県内市町国際交流協会	あいち生活便利帳	98,900
前払金	愛知県社会福祉協議会	ボランティア活動保険	69,450
<b>流動資産合計</b>			<b>26,840,514</b>
<b>(固定資産)</b>			
<b>基本財産</b>			
投資有価証券	愛知県債（野村証券） 愛知県債（みずほ証券） 大阪府債（野村証券）	公益目的保有財産であり、 運用益を公益目的事業の財 源として使用。	110,000,000 100,000,000 4,492,125
預金	定期預金 三菱UFJ銀行愛知県庁出張所 大和ネクスト銀行		102,875 100,000,000
<b>特定資産</b>			
退職給付引当資産	定期預金 三菱UFJ銀行愛知県庁出張所	職員の退職金の支払いに備 えた積立資産。	22,709,689
国際貢献支援事業 特定資産	普通預金 三井住友信託銀行名古屋営業部	公益目的保有財産であり、 国際貢献支援事業に使用。	1,835,382
日本語学習支援基金事業 特定資産	普通預金 三菱UFJ銀行愛知県庁出張所	公益目的保有財産であり、 日本語学習支援基金事業に 使用。	53,153,564
<b>その他の固定資産</b>			
什器備品	スチールパーティション他	公益目的保有財産であり、 公益目的事業に使用。	2,693,772
電話加入権	電話加入権	公益目的保有財産であり、 公益目的事業に使用。	1,148,040
<b>固定資産合計</b>			<b>396,135,447</b>
<b>資産合計</b>			<b>422,975,961</b>
<b>(流動負債)</b>			
未払金	事業実施等に対する未払額		26,308,998
預り金	住民税ほか	住民税等の預り金	518,516
前受金	賛助会費	賛助会費の前受金	13,000
<b>流動負債合計</b>			<b>26,840,514</b>
<b>(固定負債)</b>			
退職給付引当金	職員に対するもの	職員の退職金の支払いに備 えたもの。	22,709,689
<b>固定負債合計</b>			<b>22,709,689</b>
<b>負債合計</b>			<b>49,550,203</b>
<b>正味財産</b>			<b>373,425,758</b>

# 監 事 の 意 見 書

公益財団法人愛知県国際交流協会定款第8条第1項の規定に基づき、  
令和元年度事業報告及び決算報告について監査しましたところ、適正に  
執行されていることを認めます。

令和2年5月25日

監 事      宇 佐 見      比 呂 志      ⑩

監 事      加 藤      正 人      ⑩